

◆日程 2016年5月12日(木)

◆メンバー L: 北原、佐藤菜

5月12日(木) 天候: 快晴

横浜山の会へ入会する前、クラブツーリズムの「山の学校」のツアーで百蔵山に登った記憶が薄く残っており、近辺の別の山の候補を考えてはみたものの、駅からアクセスが悪かったり、いまいちピンとこない。色々考えたすえ、薄い記憶のままの百蔵山を改めて北原さんにお願いした。前日、夜勤明けでそのまま山の会の例会に参加し、生き物としての経年劣化と、メタボゆえの右ひざ痛が心配だったが、当日は何とか大丈夫だった。やはり、こういうときに日ごろの行いのよさが出る。



中間点から見える富士山

文句なしの晴れ。半袖で十分だが、日焼けして、例の経年劣化できっと皮膚のターンオーバーもグズグズだろうと長袖で我慢する。登山口から沢沿いの道を通り、杉やヒノキの林から途中、キラキラしている中央道を見下ろし、目の前に富士山がおられる。やっぱり冬の富士山の美しさにはかなわない。眺望は頂上まで再びお預けとなるが、頂上は広く相変わらずの富士山。

頂上で、おでんと日本酒を飲む。暑いおいしい。貸切の頂上で「おでんのネタは何が好きか」「次の山はどこへ行くか」という話を1時間ほどし、今度は逆から下山した。頂上直下は

やや急だが、妙義や両神に比べたら、いや、比べるまでもない。あっという間にしゃばに戻ってきてしまった。「足りないなら、もう1周どうぞ」といわれたが、謙虚に辞退した。

日本三奇橋である猿橋を観に行こうとしたが、意外に遠く、山道の暑さにはなんとか耐えられるが、アスファルトの照り返しの暑さにはどうにも弱くあっさり撤退。



「この後は反省会だ」と、北原さんと八王子で生ビールと枝豆、冷ややっこが並ぶテーブルを前に、これ以上できないほどの猛省をしっかりとした後、解散となった。北原さん、ありがとうございました。そして、ごちそうさまでした。

CT: JR 高尾駅・中央線小淵沢行 8:47 発→猿橋駅 9:25→山の神(神社?) 10:30
→頂上 12:00→おでんに日本酒 13:10→下山 14:00→猿橋駅 14:55→八王子
16:00→反省会后、解散 (記: 佐藤菜)